

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	らしっく			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和8年 3月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15世帯	(回答者数)	11世帯
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和8年 3月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちへの体験活動。子どもの時にしか味わえない体験や経験をたくさん感じられるように行事ごとには力を入れています。今後も継続していきたいです。	子どもたちからもその月で何をしたいか、どんなところに行きたいかを子ども会議を通して意見を吸い上げられるようにしています。自分の意見が反映された時の充実感なども感じてもらい、自己肯定感の向上につながるよう取り組んでいます。	まだ行ったことのない遊び場、したことのない新しい挑戦など子どもたちの経験の場として活用できるように色々とアンテナを張り、一緒に楽しんでいきたいと思っています。
2	らしっくは単体で1事業所しかありませんが、そのかわりに支援が分散されず、一人ひとりに向き合った関わりができています。	定期的に子どもたちとも面談などする機会を設け、それぞれの想い、考えなどを知る機会としています。	こちらでのタイミングと他に子どもたちのタイミングにおいても話ができるように風通しのよい場になるよう努めています。

3	卒業生との関わりにおいて、定期的に顔を出しにきてくれたり、現児童たちにもプラスの効果があります。	卒業後に抱える悩みや困り感などできる範囲で相談等にも乗りながら関係性をつなげています。	行事の中で卒業生も参加できるようなオープンな企画も増やしていきたいです。
---	--	---	--------------------------------------

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	平日のプログラムがある程度固定されているところは、ちょっとしたアクセントを加えたいと思っています。	色々プログラムをこなしていくのに職員の数が必要です。配置的には問題ありませんが、絶対的な数が増えることでプログラムの視野は広がると思います。	増員するのが一番ですが、なかなか難しいところです。
2	放課後児童クラブや児童館との交流などはありません。	放課後児童クラブや児童館との交流はありませんが、近所の公園で遊ぶ際には地域の子どもたちと交流する機会があり、一緒に遊ぶことも多いです。	継続して地域の子どもたちとの交流は大切にしていき、地域の方々に知っていただきたいと思います。
3			